

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成30年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・曜日によって活動を2つに分かれて別室を使ったりしている。教室、個室、遊戯室を活動内容や児童の状態に応じて使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		1	・送迎回数が多い日や不安定になる子の対応をしている時に職員数が足りないと思うが、配置基準以上に配置してあるため、もっと技術を向上しなければならないと考えている。 ・朝のミーティングで職員配置を申し合わせているが、想定外のことがあると対応に追われてしまうため、想定外のシミュレーションも必要であると考えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	・車いす利用の児童に対応できるように、玄関はスロープを設置している。 ・児童玄関もバリアフリーにすることで、より利便性が高まると思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・目標設定はみんなで話し合っているが、翌日の振り返りの機会が少ない。 ・定例会議を通して業務の見直しをしているが計画的な検証が必要だと思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		・保護者の意見はよく伺っていると思う。 ・保護者アンケートは提出されているがもっと活用した方が良いと思う。 ・保護者への申し送りでは、個別に時間が必要な時は別日に面談の日を設定している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・毎月のおたより、法人ホームページ、年1回の保護者説明会等、多くの保護者に見て頂けるよう、様々な手段を用いている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		・外部の方から子ども達の様子を見に来ていただいております、振り返りながら学んでいる。 ・第三者外部評価は受けていないが、行政や保護者の意見を参考に改善している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・スキルアップ研修などあって良いと思います。 ・内外の研修に参加している。職員の希望も取り入れられている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・保護者からニーズ整理表を頂いたり、聞き取りをさせていただいたことを参考に計画を作成している。 ・支援会議を開き、ニーズ整理表から見立てを行い計画を工夫して立てている。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		・アセスメントシートの読み込みと共通理解のために、より使いやすいツールを考えていく必要があると思う(常に改良をおこなっていきたい)。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・みんなで意見を出し合っている。試作を元に改善や工夫を行っている。 ・半年毎のプログラムを作成している。 ・子どもの実態、職員の様子を検討している。月や週ごとに立案会議を開いている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・半年間のプログラムの中で似たような活動の時は入れ替えて取り組んでいる。 ・季節、児童の興味、ステップアップを意識するようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・長期休暇に外出体験を計画している。長期休暇は活動にゆっくり時間をかける内容と短時間で取り組む内容を取り入れた。活動のねらいに応じてプログラムを進め、集団と個別活動をタイムスケジュールに織り込んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・子ども個人によって苦手な内容を個別活動に取り入れている。負担を掛け過ぎないようにしている。 ・メリハリのある活動になるよう計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・午前と午後で打ち合わせをして、その日の状況によって役割分担を変えている。ホワイトボード等を活用してスケジュールを作成している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	1	・当日が難しい時は翌朝から行うようにしている。 ・チーム全員で当日を振り返る事は出来ていないが、支援終了後に出来るだけ振り返りして、申し送りを行うようにしている。 ・当日の業務時間内に振り返りが難しい時は次の日に聞いたり、考察を読み直している。 ・ヒヤリハット中心になりがちであるため、ロールプレイを充実させていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2		・送迎等で担当している児童の活動を見れないことから記録が詳しくできず、支援の改善の必要性を見極めるのが難しかった。 ・活動プログラムのスケジュールを作成しているが検証して改善する話し合いが不十分。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子を見て話し合い、見直しをしている。</li> <li>・半年に1回モニタリングしている。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・週ごとにプログラムやニーズに応じたメリハリのある個別活動を取り入れている。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管だけでなく、担当職員も参加している。</li> </ul>
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割等で確認したり、直接学校に問い合わせている。</li> <li>・年度始めの学校への挨拶や教育の日の学校訪問や毎日の送迎等にて連携を図っている。</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して主治医から資料や診断書等を頂き、把握している。病院でのケース会議に参加する時もある。</li> <li>・担当者会議等で医師との連携は出来ている。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りの時間をとって情報共有している。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同意の上で申し送り書の作成をしている。</li> <li>・個別支援計画書など卒業に必要な書類を作成している。</li> <li>・担当者会議や申し送りの場で支援の引継ぎをしている。申し送り書も渡している。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して受講している。</li> <li>・定期支援を受け職員間で振り返りしている。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜療育をしている(1回/月)</li> <li>・法人内で学童を実施しているため、交流の機会を計画していきたいと考えている。</li> <li>・法人内の学童も併用している児童も多数いるため、定期的に訪問し、学童での過ごし方の確認等も行っていきたいと考えている。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が参加し、会の都度フィードバックしているが、全ての職員が協議会の目的等を理解できている状況ではないため、定期的な勉強会が必要であると考えている。</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの家庭での様子や事業所での様子を伝え合い情報共有している。</li> <li>・連絡帳や保護者のお迎えの時に振り返りをして情報共有し、課題や支援の確認をしている。</li> </ul>
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が分かる範囲では行っているが、自分の知識が浅いのでこれから学んでいきたいと思う。</li> <li>・研修を受けた職員の活用をしていくと良いと思う。</li> <li>・H31年度に担当している為学んで保護者にフィードバックしたいと思う。</li> </ul>	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の時や面談で説明を行っている。</li> <li>・定期的な面談の際や年1回の事業所説明会で詳細を説明している。</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を提案し、保護者と話す機会を多くするようにしている。</li> <li>・勉強会、座談会を行っている。</li> <li>・自分が経験した事学んだことなどから助言している。わからない時は調べたり、相談したりしている。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1回、座談会を開いている。</li> <li>・2ヶ月に1回、言語聴覚士による保護者向け勉強会を行っている。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情やご意見には適切に対応し、職員と申し送りをしている。</li> <li>・苦情に対して早めの報告と連絡、相談を心掛けている。</li> </ul>

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月おたよりを発行し、月間プログラムのお知らせと前月の活動報告を行っている。</li> <li>・月間プログラムのお知らせでは、一つ一つのプログラムのねらいや期待される療育効果の説明も行うようにしている。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部には持ち出さない。守秘義務を守っている。</li> <li>・情報の整理しながら取り扱いに気を付けている。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の不安な事等を聞く機会を設定し、アドバイスをしている。分かりやすい情報提供に心がけている。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りを開催して案内している。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のマニュアルが細かすぎて、実際の場面で活用できるか分からないため、もっと簡潔に分かりやすいマニュアルに見直しても良いと思われる。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的ではないが年に1回の心肺蘇生法を学んだ。</li> <li>・今年度は定期的に行うことができていないため、平成31年度は災害時に備えて毎月の訓練を計画している。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議で日頃の支援の仕方を振り返りを行っている。</li> <li>・毎月の全体会議で管理者より虐待に関する話をきいている。</li> <li>・虐待に関しては、もっと職場内での研修の機会を増やしても良いと思う。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束に関する説明は契約の時にしているが、個別支援計画書への記載ができていない児童もいるため、見直しを行い、計画書に記載して職員間で意識的に気を付ける必要がある。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつや給食などに気を付けている。</li> <li>・職員の共通理解が必要なので伝えあっている。</li> <li>・アンケートをとり、必要に応じて医師の指示書を提出して頂き対応している。厨房と連携して事故防止に努めている。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットを作成するが情報共有が足りていないため、職員間で再発防止に向けて考え合う時間をもっととっていく必要があると思う。</li> </ul>
計			222	25	11	
			86%	10%	4%	

H30年度 放課後等デイサービス おひさま ぷらす 自己評価

